

中央大学法科大学院（大学院法務研究科）
2021年度入学者選抜 法学末修者コース 小論文筆答試験 出題趣旨

第1問は、主として、読解力と論理的表現力を確認する問題である。問題文では、人間の一生を丸ごと研究した著名な三つ社会調査を素材としている。

- ①同じ時期に生まれた赤ちゃんのその後を追跡したコホート研究【英国】
- ②幼少期の自制心の強弱とその後を追跡したマッシュマロ実験【米国】
- ③特別の就学前教育を受けた子供のその後を追跡したペリー就学前プロジェクト【米国】

これらについて、人生の有利／不利に関連する「遺伝的要因」と「環境的要因」を分析したうえで、その結論と推論を簡潔に記述することを求めるものである（とりわけ、人生の不利に関わる「環境的要因」の理解は、第2問の前提としても重要である）。

第2問は、主として、発想力と問題解決力を評価する問題である。人生の不利に関わる「環境的要因」に対する社会的対応策は、「社会的格差／分断」「子供の貧困」などに対する社会政策であるところ、設文分析を通じて、具体的対応策の提示を求めるものである。

まず、どの要因を取り上げるかということにより、それぞれの社会に対する視野の広さ、洞察力、発想力を測る。次に、それらに対する具体的対応策を考えて提示してもらうことにより、分析力と解決能力を測る。以上の能力をバランスよく備え、合理的かつ説得力のある文章で表現できているかを、総合的に評価することになる。